

## 平成 27 年度海外短期研修報告書

タイ夏期英語研修（平成 27 年 8 月 24 日～9 月 18 日）

都市教養学部都市教養学科法学系法律学コース 2 年 木下 未央

今年度から始まった、このタイ夏期英語研修はチェンマイ大学で4週間行われました。プログラムの内容としては会話表現やプレゼンテーションなどの英語の授業を中心にタイ語の授業や文化体験などが平日にあり、休日にはホームステイやタイの古都であるスコートアイへの国内旅行がありました。

英語の授業はいくつか種類があり、プレゼンテーションを初歩から勉強する授業などが印象に残っています。この授業で学んだことは絶対、今後の役に立ちます。また、現地の学生向けの英語の授業を受講する機会もあったのですが、そこで友達になったチェンマイ大学の学生とは授業後に食事に行ったり遊びに行ったりと授業外でも私たちの良きパートナーになってくれました。もちろん、日本に帰ってからも LINE・FaceBook・Instagram のアカウントを交換しているので交流は続いています。彼らもちろん日本語はわからないので英語でやりとりしています。帰ってからも英語の勉強が出来ます。SNS の力は偉大ですね。

文化体験ですが、この研修内では様々なことをしました。博物館に行ってタイの歴史を学んだり、お寺に行ってお坊さんからありがたいお話を聞いたりしました。お坊さんのお話では感動して泣く人が続出でした。文化を教わるだけでなく、教えに行ったりもしました。チェンマイの山岳民族の小学校に日本の文化を教えに行ったり、市内の小学校に日本語を教えに行ったりしました。やはり教えるということは難しいですね。ほかにもタイの民族舞踊を見たり黄金に光るお寺に行ったりと、枚挙に暇がありません。プログラム以外にも教職員とサッカーしたり食事食べに行ったりと楽しいことだらけです。



ここで、タイについて説明します。ご飯がウマイ。物価がヤスイ。治安もイイ。良いところだらけです。僕はタイ料理が忘れられずに帰国してからタイ料理のレストランでバイ

トを始めました。まかないのパッタイやガパオライスのために働いています。本場はもっとウマイです。物価が安いのでショッピングし放題です。中には飲み物を箱ごと買っている強者もいました。住む寮も快適です。警備員さんが私たちのことを見守ってくれます。また、生活してみて感じたのですがタイ人はいい人ばかりです。「チャイ・ディー」という言葉をタイ人はよく使うのですが、これはタイ人を表わすスローガンのようなもので、直訳すると「良い心」という意味です。タイ人は良い心を持つとし、それを実践しています。敬虔な仏教国ならではの考えかもしれませんね。これらを含めて、行けばみんながタイのことが好きになって帰国するでしょう。

英語の上達に関しても、タイでの研修をオススメします。英語習得で「ネイティブ」という単語がよく使われますが、ネイティブ日本語話者の私たちにとっての目標はそこではないはずです。英語という第三国の言葉を使って非日本語話者と意思疎通を図るのが目標であるはずです。どれだけ「ネイティブ」に伝わったところで英語が非母国語の人に伝わらないと意味がないはずです。イギリスやオーストラリアで英語が通じるのは当たり前です。一方タイでは授業ではネイティブの先生がいますが、それ以外のタイ人はネイティブに英語を話せません。私は英語が話せる能力と相手に伝える能力は別物だと考えています。この環境ならば両方身につきます。もしかすると、授業外の方があなたの力を伸ばせるかもしれません。

ここでは書き表せない体験がほかに山のようにありますが、報告書はここで終わりにしたいと思います。ホームステイやスコタイへの旅行などもっと書きたいことがあるのですが文字数が足りません。写真で許して下さい。タイでの生活は思い出すと泣けてくるくらい輝かしい生活でした。違う学科から選ばれし16人が異国の地で4週間も過ごすわけなのでハプニングもストーリーも付きものでしたが、僕は大満足です。実家で暮らしているあなたも、1人暮らしをしているあなたも、寮で暮らしているあなたにさえも、普段とは違う体験がタイでは待っています。タイに留学してみたいはいかがでしょうか。

